

第23号  
平成22年2月15日  
発行  
「市民活動情報紙  
なると」編集委員会

# 市民活動 情報紙なると

鳴門市ボランティア  
連絡協議会  
☎685-7170  
鳴門市市民活動  
支援センター  
☎685-7170



## 第14回うずしお福祉フェスティバル会場

～出会い・ふれあい・和気あいあい～をテーマに、第14回うずしお福祉フェスティバルが1月17日、キョーエイ駅前店4階で開催されました。会場では記念講演や「共に生きる」パネル展などがあり多くの来場者でにぎわいました。

### 私達の4年間とこれから

NPO法人あたたかい手コラボ  
理事長 斉藤 あや子

みなさんに何を報告しようかと色々考えてみました。私自身が硬い文章を書くのは苦手ですから「私達の4年間とこれから」をお話させていただきます。

私たちは平成18年に、聴覚障害者が安心して生活できるように。また聴覚障害者の社会参加を進め情報の確保ができ易いようにということを大きな目標として活動をはじめました。当時から考えると手話ボランティアや聴覚障害者に対する理解もずいぶん高まったように思います。

それまで外に出ることが無かった人も外に出てくれるようになり・・・友達が出来たと話してくれる人もいました。私達の活動は3年目までこんな感じでほぼ順調にいていました。が最近になって不安に感じるようになってきました。

それは、聴覚障害者の中にも1人暮らしや、家族のいない人がいます。今は元気でなんでも自分でできますが、やがて高齢になり介護が必要になってきます。そんな時にどうなるの？ということです。

自分の状況をうまく話せない彼等の言葉は周囲の意見にかき消されてしまい彼等の思わない方向に話が進んでいく。そんなケースはよくあります。

彼等が望む環境でその人らしく生活していけるために、いろんな機関と手をつなぎ彼等の事を“正しく”理解できる人を増やさなければいけないと思います。

まだまだ目標に遠いなあ・・・と思いつつ、しっかりと前を見つめて歩いて行こうと思います。

みなさんの「あたたかい手」とわたしたちの「あたたかい手」をつなぎコラボレーションできたらいいな。と思っています。



## 感謝と、ご恩返しと、覚悟と ～ ソーシャルビジネスへの道 ～

NPO法人ジェイシーアイ・テレワーカーズ・ネットワーク



55選感謝状贈呈式

平成11年4月の創業以来10余年、鳴門市の皆様のおかげで、今日に至っております。

私達の活動拠点である旧堀江出張所の借用と開館に当って、鳴門市・自治振興会の方々からいただいた数々のご好意を忘れません。館内の内装には、市民活動支援センターのスタッフの方々から休日を返上して駆けつけてくださいました。

「とくしまNPOフォーラム」「鳴門市市民活動交流研修会」他のお世話役を担当したものと、地域の方々からいただく、圧倒的なご支援・ご協力は、何よりの原動力となりました。

「時間と場所の制約から解放された、新しいワーキングスタイルとライフスタイルの創出」を標榜して、チャレンジ自身が積み重ねた事業が、平成20年度末に、経済産業省が全国から募った「ソーシャルビジネス55選」に選出されました。

ソーシャルビジネスとは、社会的な問題を解決するミッションをビジネスの形に表し、継続的・発展的に事業活動を進めていく事業です。

私たちの取り組んでいる事業が「既存の雇用形態になじまないチャレンジド（障害者）の就業・就労の実現を目指すものであり、全国のいかなる地域にも遍在するきわめて重要な要請にこたえるもの」として認知されたと考えています。

平成21年4月、経済産業省が公募した「コミュニティビジネスノウハウ移転支援事業」に、私達の提案した事業が、採択されました。

これは、私たちが培ってきたビジネスモデルとノウハウを2年間、4つの地域・事業者に移転し、ハンズオン支援するというプロジェクトです。

「ご恩返し」の時が来ました。

「退路を断って、前にのみ道を拓く」覚悟を共有し「自立」「継続」「発展」することが、皆様から賜ったご支援・ご助力へのお礼と心得て、一同、心を新たに真摯な努力を続ける所存です。引き続き、よろしくお願いいたします。

### 活動に参加して

NPO法人環境とくしまネットワークが企画・運営をした「環境NGO・NPO/知る、つながる、行動する One STEP↑のためのワークショップ」(主催(独)環境再生保全機構 地球環境基金)が、1月16日、四国各県の環境NPOなどが参加してあわぎんホールで開かれました。

第1部はNPO法人ETIC代表理事 宮城治男氏の「環境NGO・NPO活動から地域の明日を考える」と題しての基調講演があり、地域が変わり始めた事例が紹介されました。

また、地域づくりはこれまでの行政・企業では限界がある。現場で実態を創る人たちが力を持つ時代であり、地域を考える答えは現場にあるなどの話がありました。

第2部の分科会では地球温暖化防止に取り組む愛媛や高知県の団体の事例発表がありました。その後、参加者から運営に関する質問などがあり、活発な意見交換が行われました。

## しあわせな社会をめざして

### NPO法人ヒューライツ鳴門

NPO法人ヒューライツ鳴門は活動をはじめ今年で4年目を迎えています。私たちの法人は、差別のない社会の実現をめざした活動を目的としています。

青少年会館では、毎日子どもたちの明るく元気な声が聞こえ、職員は日々奮闘しています。現在、少子化で子どもたちの数がどんどん減少している中、逆に会館の利用者は増えてきています。それは、青少年会館の設置目的の一つである親の就労権の保障、子どもを安心して託せる場所であるということ、もう一つは、基本的生活習慣の確立や自尊感情を育み、差別を許さない子どもの育成をめざした、教育の場としての活動を行っているからです。

また、幼稚園、小学校低学年を対象にして学校(園)までの送迎を行っています。最近是不審者等の出没や交通事情により、子どもたちだけの下校は、保護者にとっては不安材料にもなっています。職員が学校(園)まで迎えに行くことにより、保護者は安心して仕事をすることができます。



青少年会館の大切な行事のひとつとして、人権問題を中心とした学習があります。中学生や高校生は育友会の中で、小学生についてはふれあい教室で、それぞれにテーマを決めて学んでいます。今年度は、障害者問題を多く取り上げて学習してきました。直接当事者から話を聴いたり、介助犬や、盲導犬などにふれる(直接さわったりすることではない)ことによって、自分が今までに体験したことのないことや、世の中にはいろいろな人達がいることを実感すると同時に、みんなの一生懸命生きている姿や、生命の大切さをしっかりと学ぶことができました。また、年間行事の中には、様々な活動を通しての仲間づくりや、体力づくり等も行っていきます。

わたしたちは、一人ひとりの人権が守られ、みんなが幸せになれる、そんな社会をめざした活動をしていきたいと思っています。

### 第8回鳴門市市民活動交流研修会

【日 時】 平成22年2月21日(日)

13:00~16:00

【場 所】 キョーエイ鳴門駅前店 4階

【内 容】

#### ☆基調講演

地域の活性化と市民活動

~全国の事例をふまえて~

NPO 法人市民未来共社

副代表理事 島 博司 氏

#### ☆活動報告

鳴門市第一中学校 ボランティア部

NPO 法人環境とくしまネットワーク

鳴門市自治振興連合会

#### ☆ボランティア・NPO・マッチングフェア

【問合せ先】

鳴門市市民活動交流研修会実行委員会

☎088-685-7170

### 行 事 の お 知 ら せ

### NPO 法人ふくろうの森 後援行事

#### 『第1回源氏物語講座』

主催 鳴門市読書振興協議会

【日 時】 平成22年4月14日(水)

13:30~15:30

【ところ】 鳴門市立図書館2F 視聴覚室

【講師】 平田 弘子 氏

【内 容】 「宿木の巻」(前半)

【年会費】 200円(資料代含む)

【申込先】 鳴門市立図書館

☎088-685-0255

(当日参加も可)

源氏物語講座は全8回シリーズです。

4月~12月(8月は除く)の

第3水曜日に行っています。

ぜひ、ご参加下さい。(資料代100円)

## 新法人紹介

### 《 あかり 》

平成22年1月、鳴門市内に新しいNPO法人が誕生しました。これで当市のNPO法人は25団体になりました。よろしくお願いします。

【事務所】 鳴門市撫養町南浜字馬目木104番地14

【理事長】 松浦 容子

#### 【事業】

- ・温暖化ガス削減に関する事業
- ・発達障害児、自閉症児・者の健全な療育、健康増進に関する事業
- ・介護保険法に規定する訪問介護・介助、通所介護に関する事業
- ・障害者自立支援法に基づく福祉サービス事業

#### 【目的】

この法人は、地域のバイオマスの総合的かつ効率的な利活用を図る為、廃食用油のリサイクル事業等地球温暖化ガス削減事業を行い、これを基に障害者の雇用機会の拡充を支援すると共に介護保険法に規定する指定サービス事業、障害者自立支援法に基づく障害者の福祉サービス事業を行う。また高齢者・認知症者や障害者が住み慣れた我が家のある地域を離れることなく、安心して暮らせる地域社会作りを目指すと共に、発達障害児・者及び自閉症児・者とその家族、関係者及び地域社会に対して、適切な療養・育児の正しい知識の啓発など地域生活を支援する事業を行うことにより、全ての人々が人としての尊厳を保ちながら地域全体が支え合うことが出来るノーマライゼーション社会を作り、人権擁護及び教育と福祉の充実を図り、広く公益に寄与することを目的とする。

## 助成金情報

2010年度

### ドコモ市民活動団体への助成金募集 テーマ「子ども育成」

#### ☆助成対象活動

1. 不登校・ひきこもりの子どもや保護者に対する精神的・物理的な支援、復学・社会的自立支援活動
2. 児童虐待やドメスティック・バイオレンス(DV)、性暴力などの被害児童・生徒を保護・支援する活動
3. 非行や地域犯罪などから子どもを守るための支援活動
4. 子どもの居場所づくり(働く親支援のための安全な保育、子どもの不安や悩みに耳を傾ける相談活動など)
5. 軽度発達障害を持つ児童の支援活動
6. 上記(1)から(5)以外で「子どもを守る」という視点に立った活動テーマ「子ども育成」に相応しい支援活動

#### ☆助成対象団体

- ・日本国内に活動拠点を有する民間の非営利活動団体でNPO法人などの法人格を有するもの
- ・活動実績が2年以上である団体(法人格を有する以前の活動実績を含む)
- ・複数のNPOが連携した協働事業で、地域の中間支援組織が代表申請団体となる場合は、その協働グループ

#### ☆助成対象期間

2010年10月1日～

2011年9月30日に実施する活動

#### ☆助成金額

50万円を標準額とし、200万円まで可能

☆締め切り 平成22年3月31日(必着)

#### ☆問い合わせ先

NPO法人

モバイル・コミュニケーション・ファンド

☎03-5545-7711

